

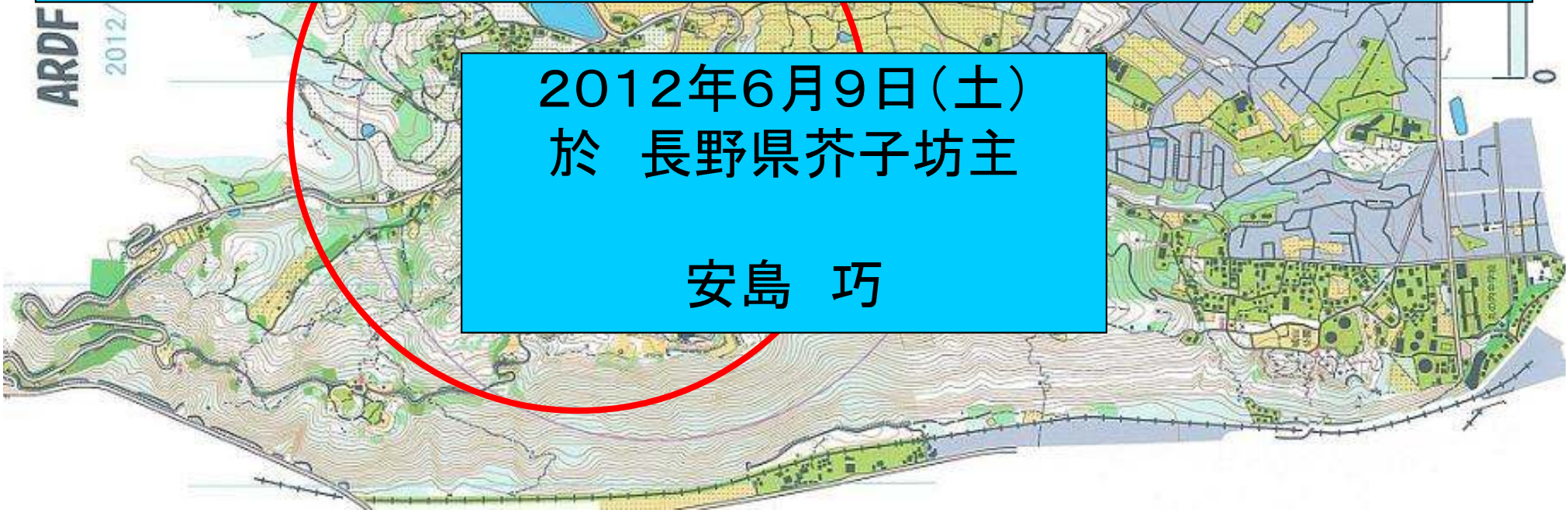


救護場所はスタート地点
緊急時連絡 090-1266-
090-1268-

2012長野大会(3.5MHz)での 私の判断と行動

ARDF
2012/

2012年6月9日(土)
於 長野県芥子坊主
安島 巧



初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

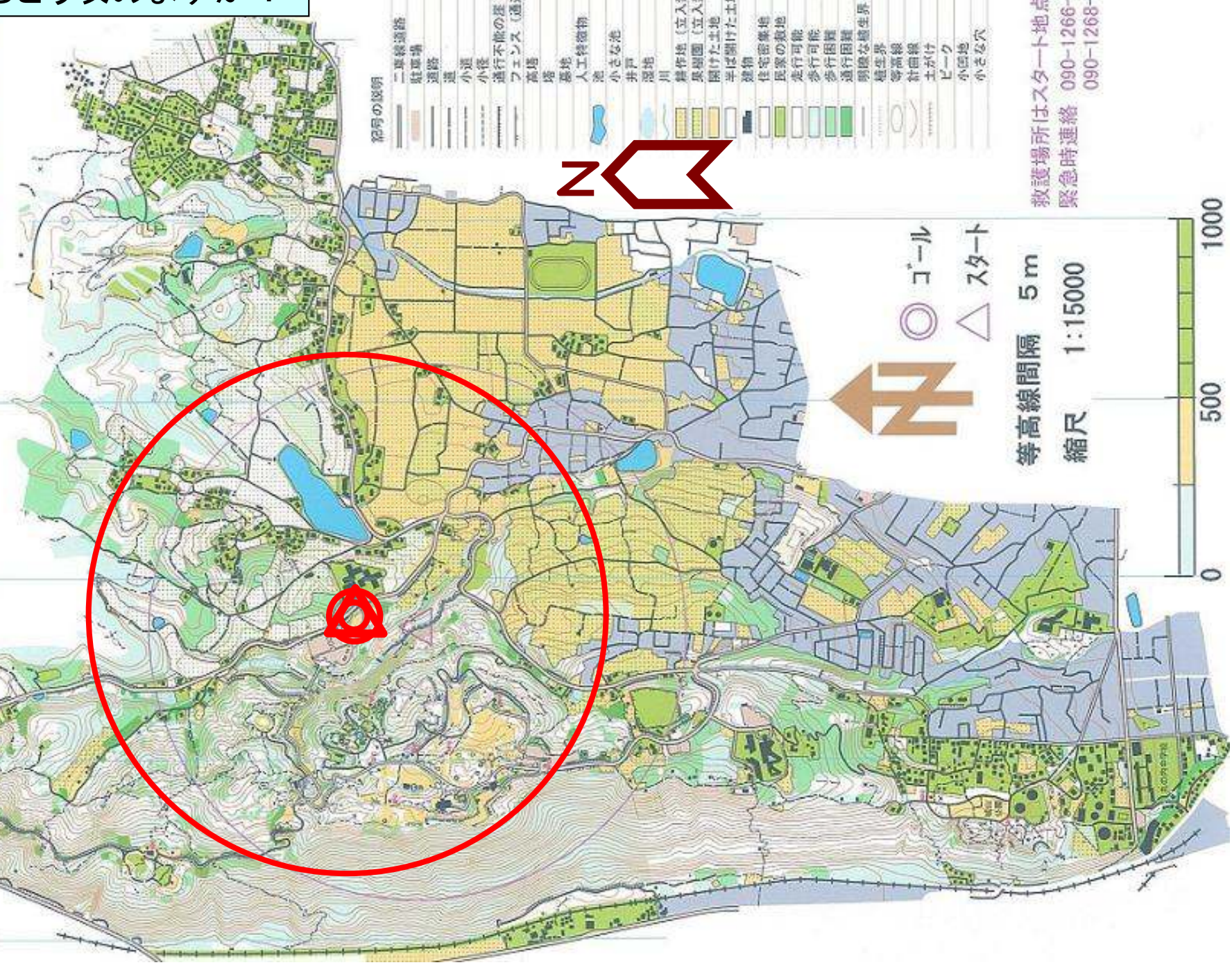
あなたならどう攻めますか？

ARDF 長野大会

2012/6/9 3.5MHz

我駆者

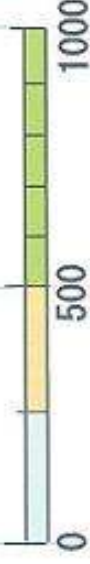
GAKUTO MATSUMO



等高線間隔 5m

縮尺 1:15000

救護場所はスタート地点
緊急時連絡 090-1266-
090-1268-





①スタート前の地図読み

雨天のためスタート地点が急遽変更された。地図北側は山地で南側は平地で住宅地が多い。Aエリアが最も設置しやすく、「注目の高台」エリアも要注意だ。そして意地悪にもBエリアの可能性もある。田園地帯にも物陰に1個はあるはずだ。80mと言えども方探精度の良い高所から攻めるのが一つのセオリー。幸いにも雨でスタート地点がゴールの位置からとなったので、高所から攻めることができる。右回りで行くことにする。

②探索開始地点

不幸にもビーコン設置場所であり、TX周波数にあわせるのに苦労する。TX2の時間になってようやくTX周波数を捕まえる。TX3は陸上競技場方向だ。見通しなので方探精度は良い。TX2,3,4と順番にならんでいることもあり、TX5はBエリアの可能性が高いと推定し、北上を開始する。TX1はおそらく注目の高い台だろう。



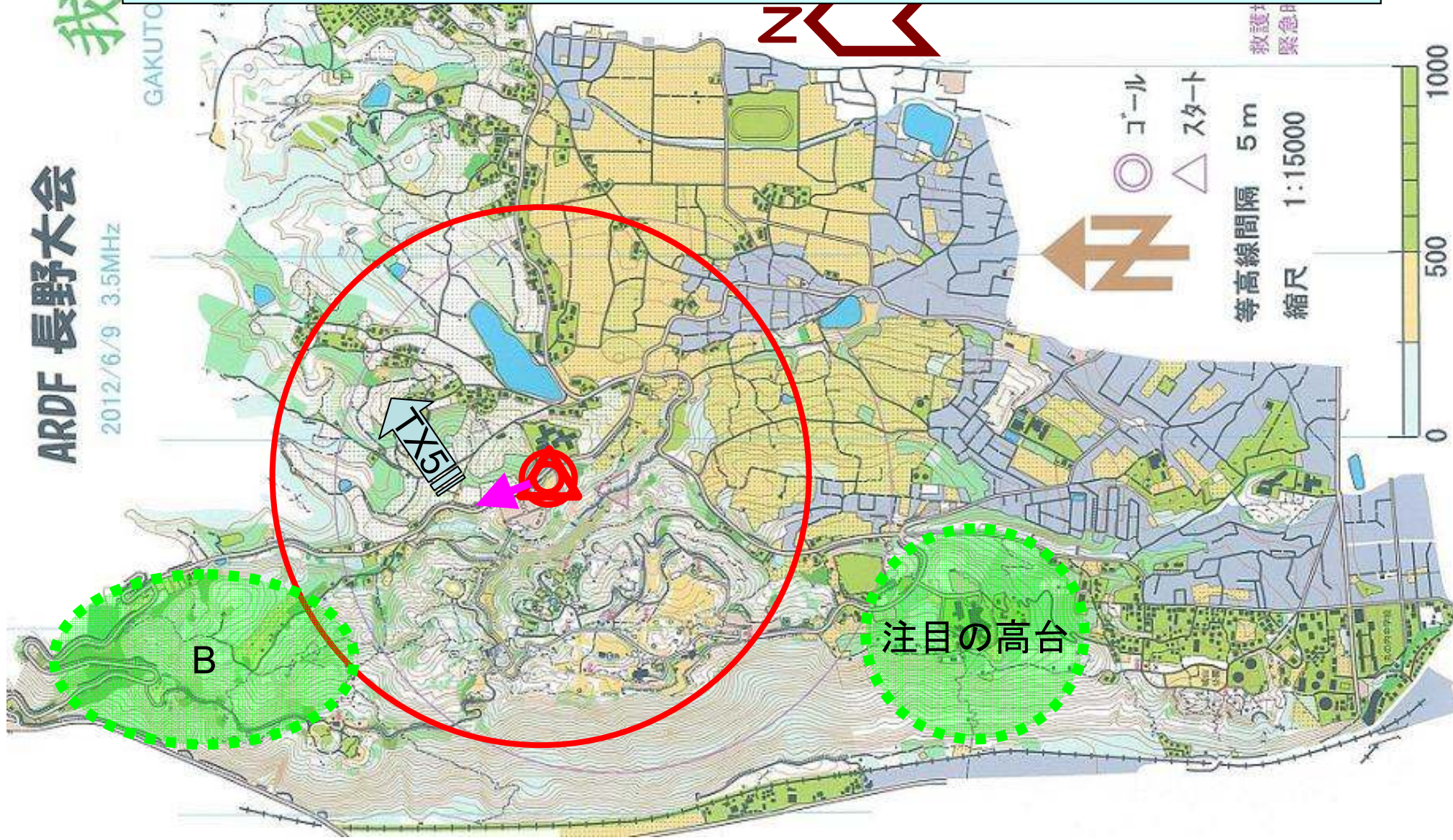
ARDF 長野大会

2012/6/9 3.5MHz

我 駆 都

③上り坂

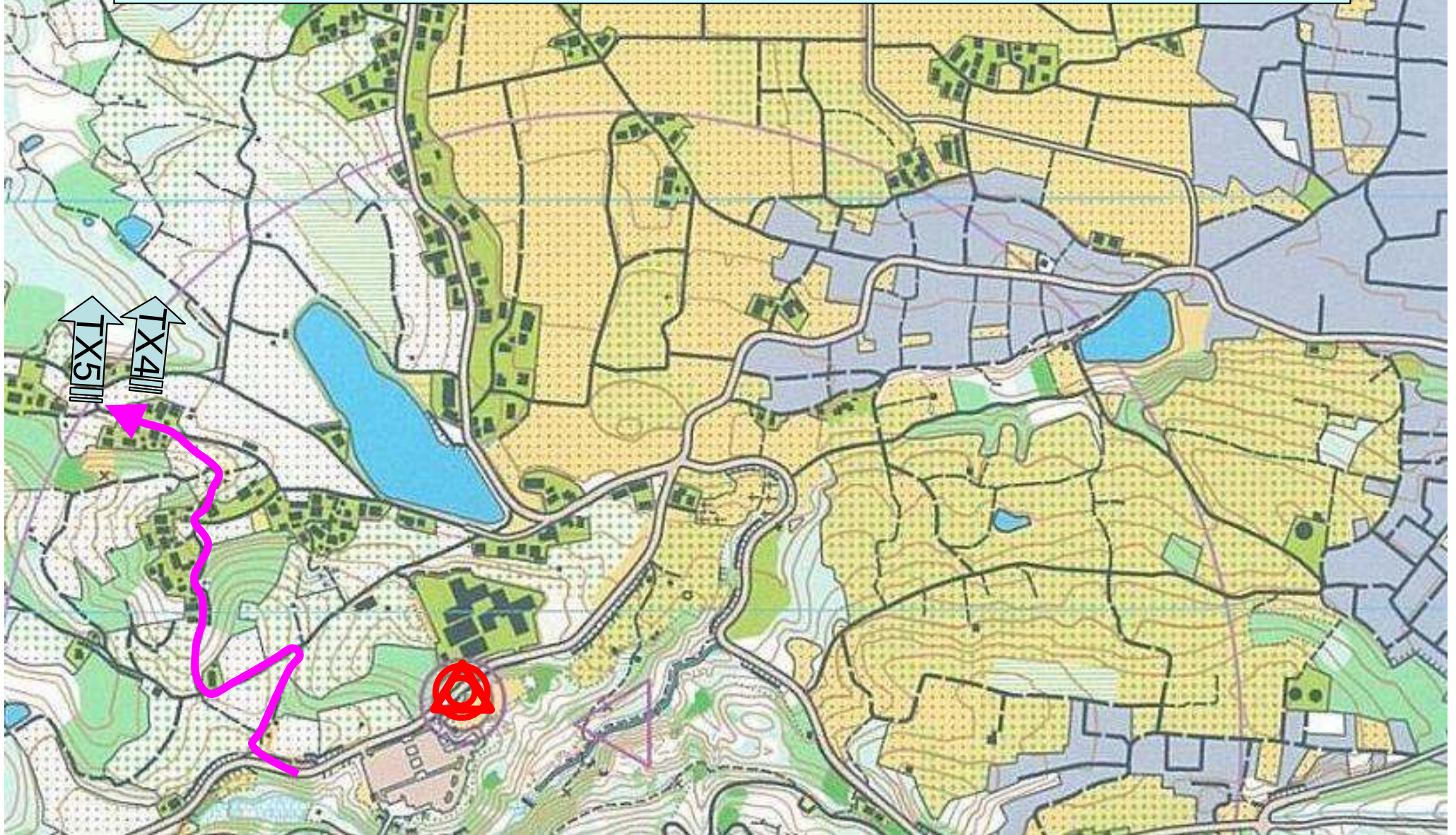
TX5が鳴く。意外にも北東方向。Bエリアではなかった。ちょっとがっかりするとともに、辺鄙なところに行かずにすむので一安心。

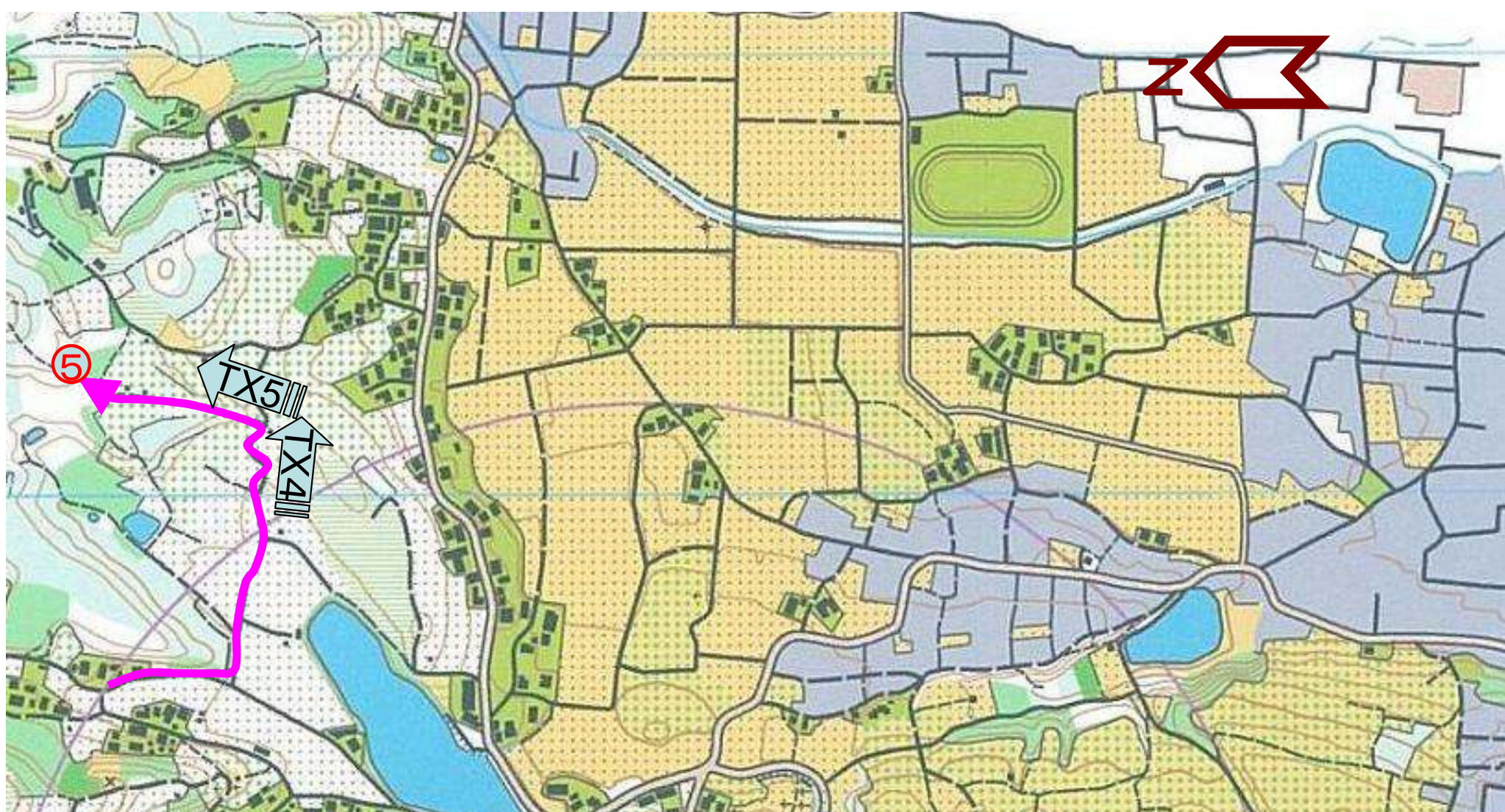




④低地

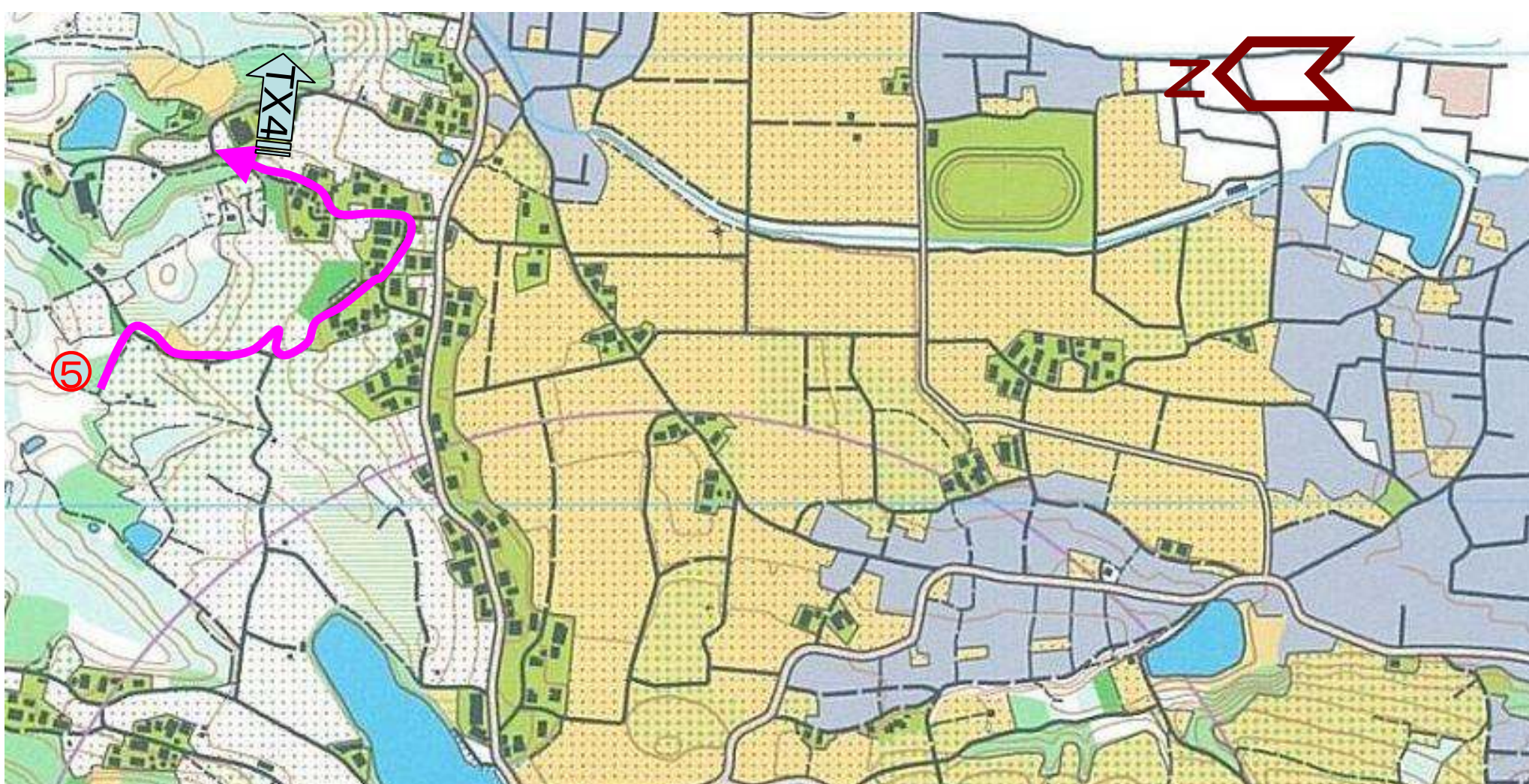
低地・山際の方探はご法度だが、ここでTX4,5の方探をして北側の谷戸に無いことを確認する。





⑤TX5

丘を登りながらTX4を方探する。本当は丘に上がったところでしたいが間に合わない。TX4は道なり方向だ。丘に上がったところでTX5が鳴く。比較的強くに北方向真正面だ。周りに障害物がないので、方向がぼっちりで。前方の森だ。森に到達して、周辺を覗いた後、山道を進む。目視で見つける。TX5ゲット。



⑥ 回り道

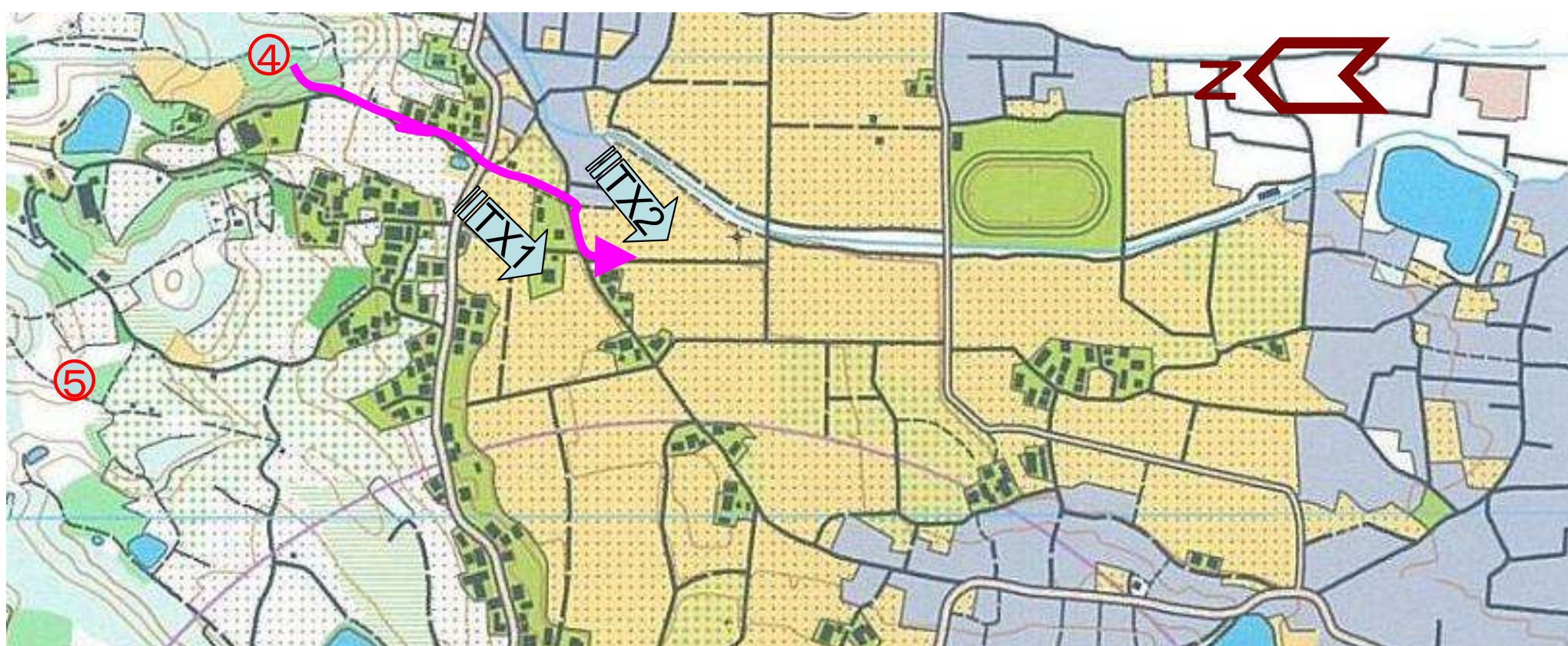
東方向に行きたいが、道がみつからず、結局回り道をする。東方向が開けたところで、TX4が鳴く。方向はぼっちりだ。向かいの丘の上と判断。



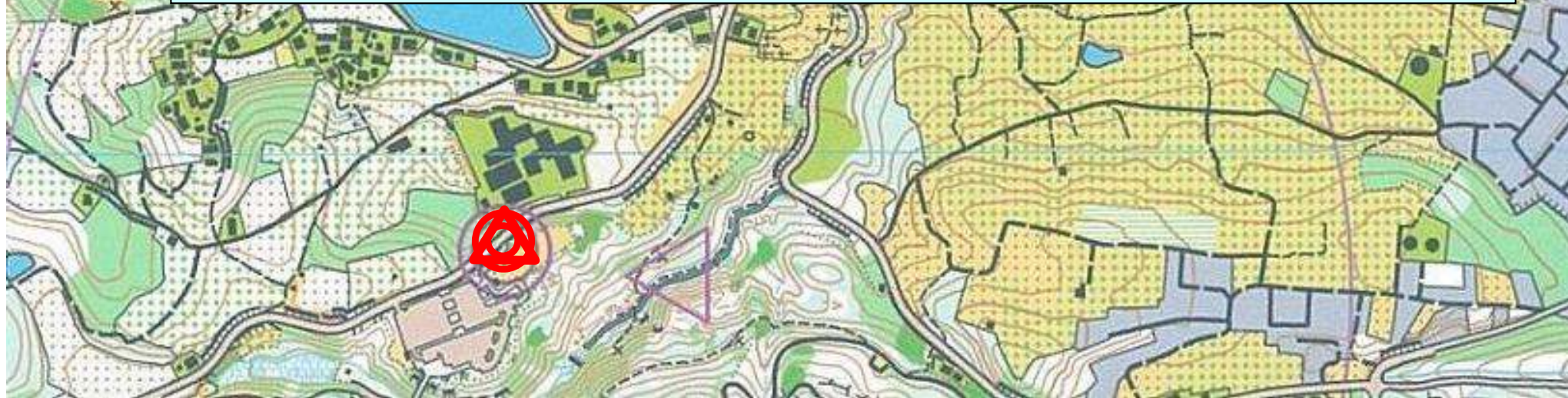


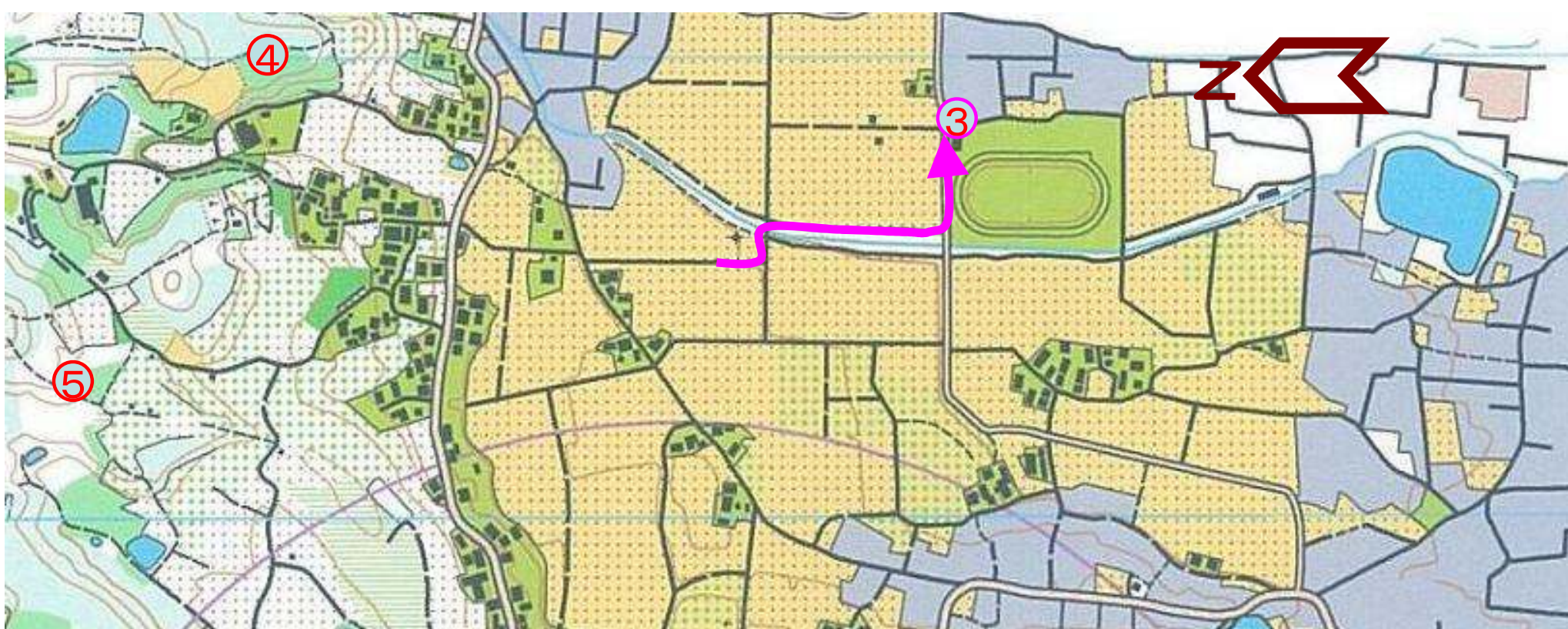
⑦TX4

向かいの丘に登る。まっすぐに登りづらかったので多少南側に回るコースをとる。途中、見晴らしが良かったので方探すると見通しのTX3がやはり陸上競技場、しかも東側とでた。丘の上に到達すると山道があった。この道沿いだな。目視でTX4ゲット。



⑧陸上競技場へ向かう
ひたすら陸上競技場東側への最短コースを取る。
TX1,2は同じ方向で、例の「注目の高台」方向だ。

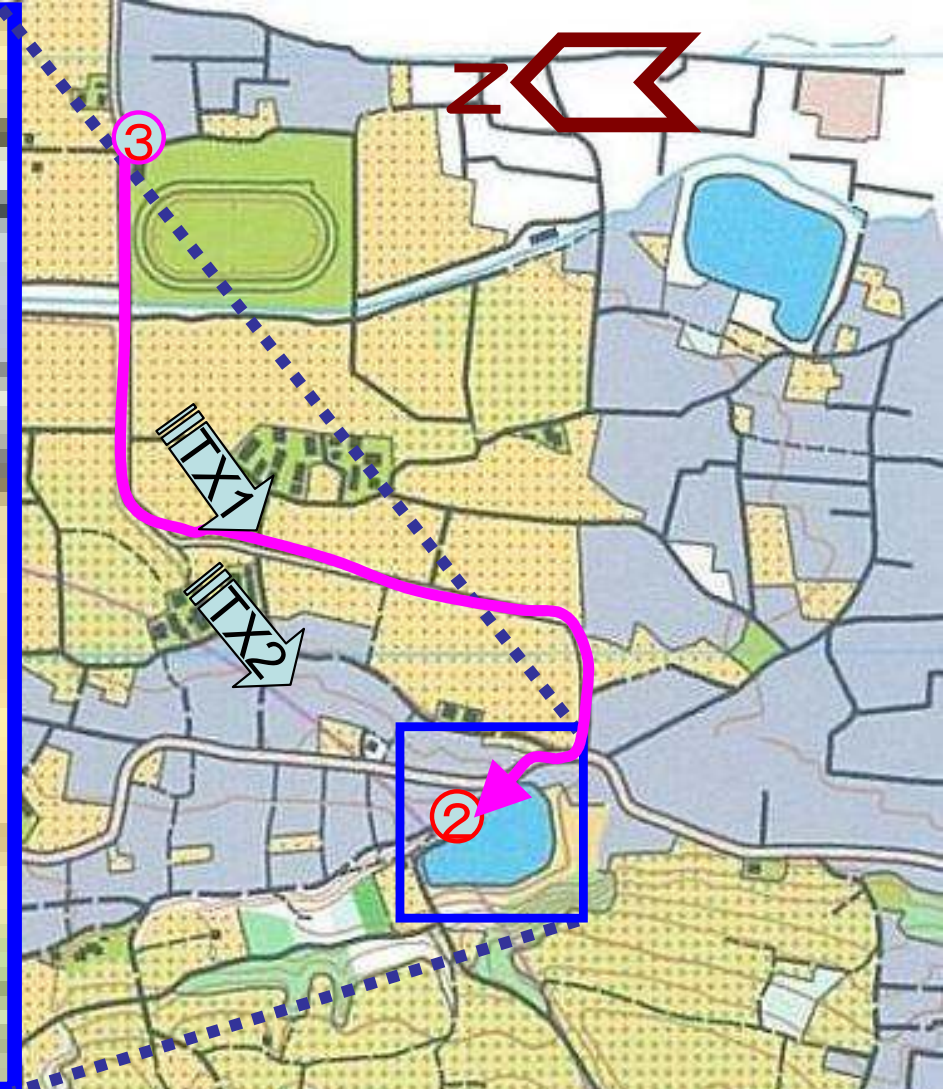




⑨TX3

陸上競技場西端に到達した。目視でも十分見つきりそうだ。TX3が鳴く。おかしい、方向が出ない。あわてて競技場東端に向けて走る。自販機のところにスタッフと80mアンテナをつけた車があった。TX3ゲット





⑩TX2

南西方向へ電線の無い道を選びながら進む。TX1,2は同方向だが、TX1は注目の高台、TX2は近く、池のほとりのようだ。池のほとりに近づいたところでTX2の鳴く時間が近づく。重要な方探なので、方探ポジションを探す。TX2が鳴く。至近距離だ。池のほとりの道を進む。方向が真横になった。崖を見上げると上の道にフラッグが見える。しまった上の道か。さんは前方へ走っていった。崖を苦勞して登るが、道を来たさんに先を越される。TX2ゲット。



⑪細い山道

細い山道を登る途中でTX1が鳴く。強烈だ。しかし横方向。おかしい、そんなはずは無いはずだ。建物の影響か？そのまま道を登る途中でKさんとすれ違う。そのまま「注目の高台」に向かって進む。

⑤





⑫ 茂み

歩きながら先ほどのTX1を思い出す。方向は変だったが、強度としては至近距離。これはいったいどういうことだろう。注目の高台ではなくこの近辺にあるのかも。ベテランのSさんとすれ違う。かなりあせっている。TX1は難しいのかもしれない。

TX1が鳴く。道路わきの茂みだ。一気に突っ込む。人がはいった形跡もある。しかし次第に身動きが取れなくなってくる。方向はなんと先ほどTX1を聞いたあたりではないか。かまわず突き進む。





⑬TX1

先ほどの場所に出た。SさんとKさんが目視探索をしている。TX1が鳴く。段々
の下だ。あわてて降りるとそこは道になっていた。フラッグを見つけると同時に
上の段からKさんが飛び降りてきて先にゲットされた。やられた。TX1ゲット

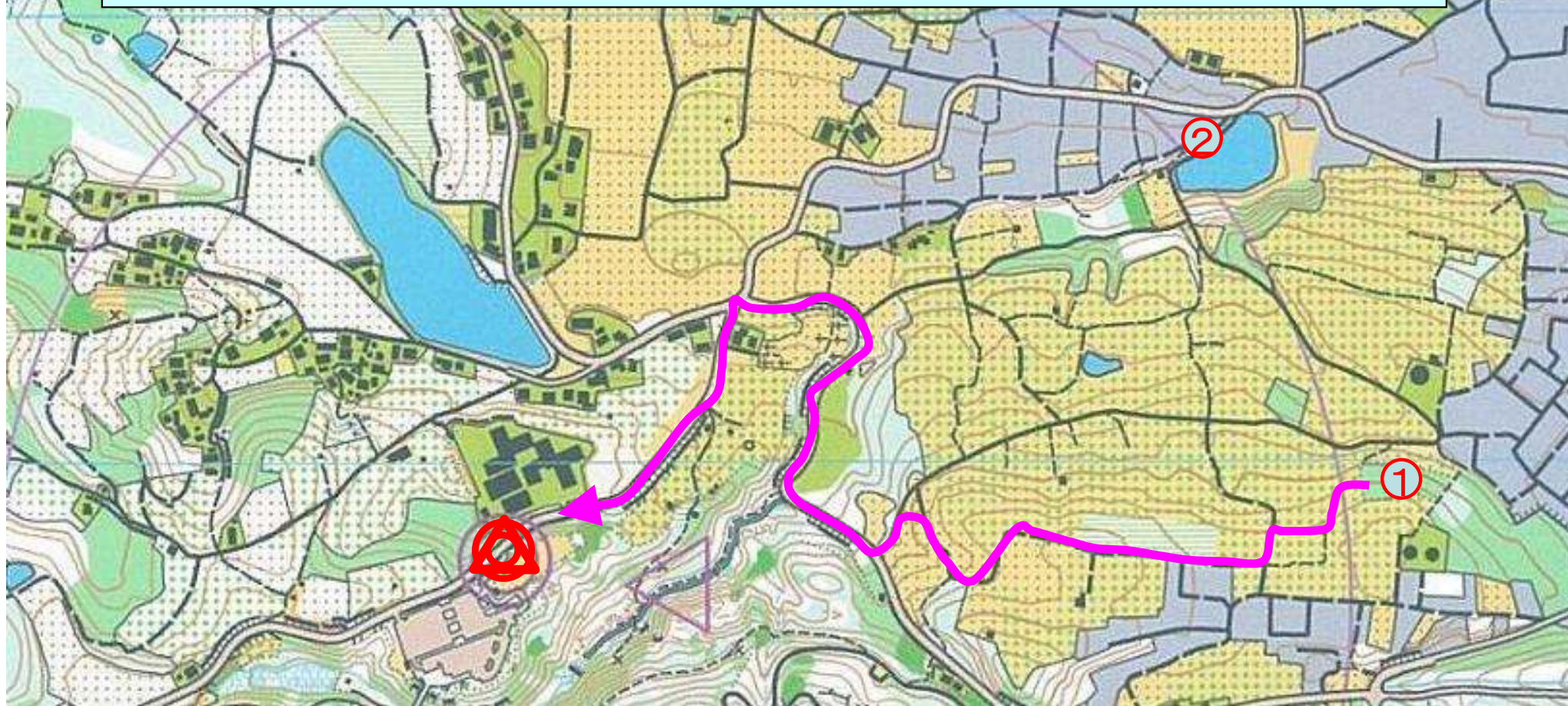
⑤



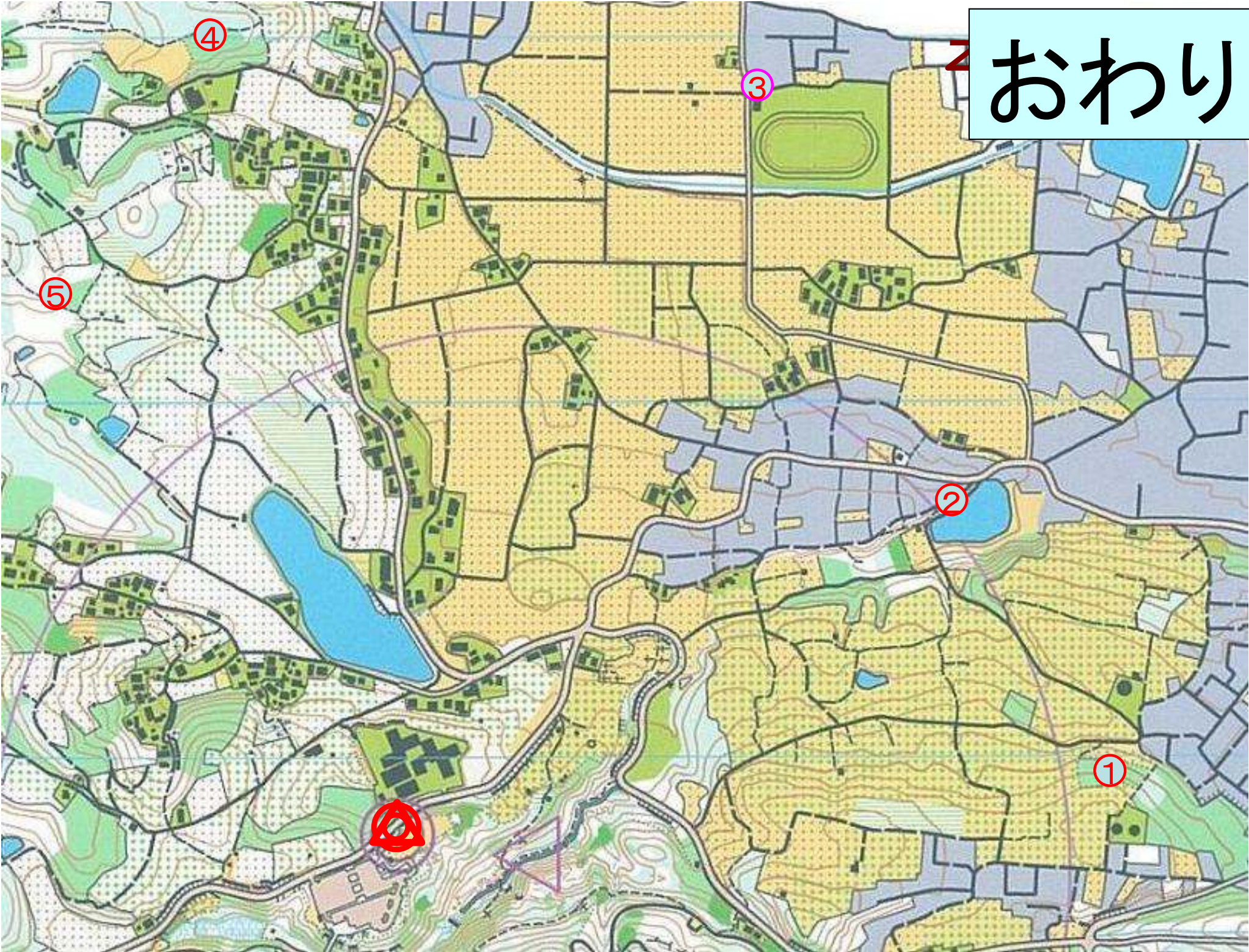
⑭ゴールへ

Kさんはすぐにゴール方向へと向かった。さすがだ、次の行動を常に考えている。

- ⑤ 自分もその方向に進むが既にKさんの姿は見えない。本来スタート地点であった場所からゴールに向かう方法もあるが、雨で急な山道がぬかっているとのことだったので、安全策をとって、道を行くことにした。ゴール。



おわり



反省

TX1を至近距離で鳴かせながら
ゲットできなかった。というかゲットし
ようとも思わなかった。そのときの
心境がなかなか思い出せない。注
目の高台にあると思い込んでいた
からに違いない。

恐るべし「思い込み」